



**「令和4年」から「令和5年」への「冬休み」に突入します！**  
**去りゆく年に感謝し、新たな年に希望を持って、**  
**充実した冬休みを過ごしてください。**

### 生徒のみなさんへ

いよいよ明日から17日間の冬休みに突入します。新型コロナウイルス第8波の流行が大変気になるところではありますが、生徒のみなさんが家族と共に、クリスマスや年末年始を穏やかな状態で迎えられることをまずは願っているところです。

また、今年一年を振り返ってみますと、引き続きコロナ禍ではありましたが、先生方・生徒のみなさんで知恵を出し合い、協力し、そして、保護者の皆様のご支援をいただく中で、様々な学校行事を成し遂げてたくましく成長した生徒の姿がありました。これまでの経験、そして、その中で培ってきた力をこれからの糧として、さらに充実した学校生活を過ごしてほしいと思っています。

さて、時間が止まることはありませんが、その年々の年始年末を迎えるということは、一年の節目となる大切な時間の中で、自分自身のこれからの生き方をしっかり考える機会を与えてもらったということだと思います。「去りゆく年」=2022年の中におけるこれまでの自分の言動や取組をしっかりと振り返り、「新たな年」=2023年に向けて自分の願いや夢を決意する。その中で、自分をより良く高めていこうという揺るがない気持ちをしっかりと築き上げてほしいと思っています。

いよいよ3年生のみなさんは、この冬休みが終わると、高校受験本番を迎えます。自分の一生を決めると言っても過言ではない進路決定の時を迎えます。不安もあるでしょう。迷いもあるでしょう。しかし、来春から自分の選んだ高校で新生活を歩みたいという強い思いと、自分の可能性を固く信じる思いが、きっとその不安や迷いを払拭し、この冬休みの計画的で継続した学習に導いてくれることと思います。自分に厳しく、受験勉強にしっかりと取り組んでください。

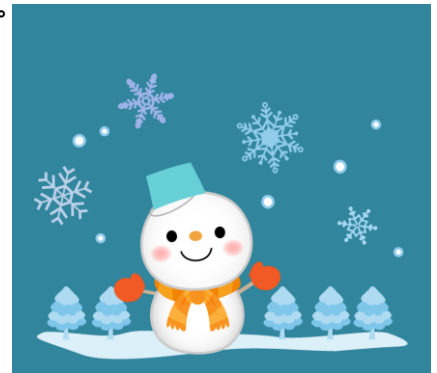
次に、2年生のみなさんは、これまで郡中をリードしてくれた3年生の後を受け継ぎ、いよいよ郡中学校の主役として活躍する時を迎えます。また、その中では、一年後の自分の進路実現のため確かな学力を付けていくこともとても大切になってきます。しかしながら、2学期後半は、修学旅行や合唱コンクールで高めたクラスの絆を壊してしまうようなSNS上のトラブル、クラスの中における暴言・陰口等があったことを忘れてはいけません。一人一人の違いや個性を認め合い、尊重し合うことの大切さを改めて確認し、集団としてお互いを高め合う力を再構築してほしいと思います。

1年生は、入学してからの9ヶ月、よくぞここまで郡中学校の学校生活に適應できるように成長してきたと思います。しかし、3ヶ月後には新入生が入学してきます。

つまり、学校生活においても、部活動においても、あなた方が先輩として手本を示す時が来るのです。自分の言動に責任をもつ中で、仲間との絆を大切にする心=「連帯」の精神と、新たなものにチャレンジし創り上げていく「創造」という思いを大切に、自分自身をこれからも高めてほしいと願っています。

今年も残すところいよいよ一週間あまりとなりました。生徒のみなさんがご家族の皆様と共に、年末年始を健康で無事に迎えられることを願っています。また、家族団らんの時間を過ごす中で、家族の一員としての自覚をより深めてください。

「一年の計は元旦にあり」と言われます。新しい年を迎えるために、郡中学校650名の生徒一人一人が、年の初めの元旦に立てた目標や計画が確実に実行され、幸せに満ちた、充実した一年になることを祈っています。チーム郡 思いを力に。 校長より



**祝「大村の郡三踊」の沖田踊・黒丸踊を含む「風流踊」が**  
**ユネスコ無形文化遺産に登録されることが決定しました!**

「風流踊」（ふりゅう踊）とは、華やかな人目を惹くという「浮流」の精神を体現し、鉦（かね）や太鼓、笛などの囃（はや）しや小唄に合わせて、衣装を飾った人々が群舞する中世の踊りです。念仏踊、太鼓踊、小歌踊、盆踊など現在に受け継がれています。今回のユネスコ無形文化遺産登録は、24府県、42市町の41件の踊りが対象で、大村市からは「大村の郡三踊」のうち沖田踊保存会と黒丸踊保存会のみなさんが守り続けてきた「沖田踊」と「黒丸踊」の2つの登録が決定されました。誠に、おめでとうございます。



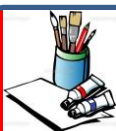
「沖田踊」

沖田町に伝わる踊りです。戦国時代に中国地方から来た浪人法養が教えたと言われています。長刀と小太刀の二人一組の20人が円陣を組んで切り合う様子を演じた踊りで、別名「なぎなた踊」とも呼ばれています。

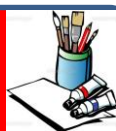


「黒丸踊」 ※法要祭に出演した1年中島彩稀さん・中村愛輝さん

黒丸町に戦国時代から伝わる踊りです。中国地方の浪人法養が教え、領主大村純伊の領地回復の祝いに踊られたと伝えられています。4つの大花輪と2つの大旗が太鼓を打ち鳴らしながらゆっくり回る勇壮な踊りです。



# おめでとう！ 令和4年度第68回「子ども県展」において 郡中の生徒作品が高く評価され、多数受賞しました！



「子ども県展」とは、県内の義務教育諸学校の児童生徒を対象に美術作品を募集し、作品展を開催することにより、児童生徒の図画工作・美術に対する意欲・関心を高めるとともに、創作の喜びを味わわせ、また、作品の鑑賞を通して、表現力の向上や豊かな情操の育成を図ることを目的として開催されている長崎県の伝統ある美術コンテストです。

今年度の第68回「子ども県展」においては、郡中の生徒作品が特選に7名(絵画5作品・版画1作品・デザイン1作品)、入選に27名(絵画10作品・版画8作品・デザイン7作品・立体2作品)受賞しました。

入賞者のみなさん、本当におめでとう！ みなさんの作品が高く評価されたことを、大変嬉しく思っています。そこで、この栄光を讃え、特選に輝いた7作品を紹介させていただきます。生徒達の素晴らしい作品をご覧ください。本当に凄いです！！



絵画特選 1年 立石 光



絵画特選 2年 松永ゆづか



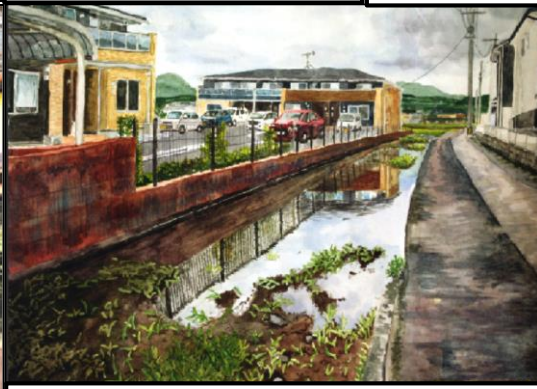
絵画特選 2年 柳 菜李



デザイン特選 2年 福浦愛美



絵画特選 3年 北島咲良



絵画特選 2年 福浦愛美



版画特選 2年 森 咲耶

**「特選」に輝いた素晴らしい7作品をご鑑賞ください。**  
 なお、特別賞・特選作品の展示を行う「総合展」が開催されます。こちらもご来場ください。  
**長崎県美術館 県民ギャラリー 令和5年1月17日(火)～1月22日(日)《休館日:第2・4月曜日》**

## ◆◆◆◆◆ 中学生の「税についての作文」 ◆◆◆◆◆

**「諫早税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞」を3名が受賞。併せて「感謝状」もいただきました。**

国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が主催して実施された中学生の「税についての作文」において、標記の賞を下記に示す3名の生徒が受賞しました。また、受賞した3作文の内容の高さに加え、本校から様々な視点の作文が多く応募されたということで、郡中学校に対し「感謝状」もいただきました。生徒のみなさん、本当におめでとうございました。

諫早税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞	
3年	井上 実花 さん
3年	石川 栞奈 さん
3年	松村 あさひ さん



中学生の「税の作文」は、将来を担う中学生のみなさんが、身近に感じた税に関する事、学校で学んだ税に関する事、テレビや新聞などで知った税の話などを題材とした作文を書くことで、税について関心を持ち、正しい理解を深めていただくという趣旨で実施されているものです。本年度は全国6,595校から460,918編の作文が寄せられました。

